



名古屋東海ワイズメンズクラブ

会長主題「原点回帰 ～All for Service～」

| | | |
|--------------|---------------|---------------------------|
| 国際会長主題 | 「輝かそう あなたの光を」 | Urlik lauridsen (Denmark) |
| アジア太平洋地域会長主題 | 「変革のための光となろう」 | 利根川 恵子 (川越) |
| 西日本区理事主題 | 「未来に灯そう 希望の光」 | 深谷 聡 (名古屋) |
| 中部部長主題 | 「みんなで参画」 | 松本 勝 (名古屋東海) |
| 名古屋東海クラブ標語 | 『限りなき熱情を奉仕に』 | |

----- 今月の聖句 -----

だれに対しても悪に悪を返さず、すべての人の前で善を行うように心がけなさい。

ローマの信徒への手紙 (12章 17節)

強調月間 Building Fellowship

11月例会等ご案内

◎ 11月第1例会

日程：2023年11月9日（木）18：45～

担当：柴田洋治郎君

会場：ラ・スースANN

開会宣言・点鐘：中江正典会長

ワイズソング

5つの信条：神谷正博君

食前感謝：浅野猛雄君

一 会 食

卓話：『名古屋の和菓子について』

講師：伊藤誠敏（まさとし）氏

「菓匠 花桔梗」代表

諸連絡

閉会宣言・点鐘：中江正典会長

◎ 第30回チャリティーラン

日時：11月4日（土）10：00～12：45

会場：名城公園噴水予定地

◎ 11月第2例会

日程：11月16日（木）19：00～

会場：名古屋YMCA

◎ クリスマスキャロル

日時：12月9日（土）14：30～15：10

会場：名古屋駅タワーズガーデン

◎ クリスマス祝会

日時：12月17日（日）17：30～

会場：ラ・スースANN

◎ 忘年会（第3例会）

日時：12月28日（木）夕刻

会場：検討中

東海ワイズ五つの信条

- 一、自分を愛するように隣人を愛そう
- 二、青少年のためにYMCAにつくそう
- 三、世界的視野を持って国際親善を図ろう
- 四、義務を果たしてこそ 権利が生じることを悟ろう
- 五、会合には出席第一 社会には奉仕第一を旨としよう

【出席率】 8月末一在籍者 19名
(内広義会員 2名)

出席者 17名 (Make up 2名)

出席率 100%

【特別ファンド】 仮集計

10月のニコボックス 10,500円

現在保有額 1,273,905円

10月第1例会報告

『繋ぐ・繋げる・仕事と私』

井上直子氏（インテリアプランナー）

中江会長が出張で欠席ということで、橋爪直前会長の点鐘で会が始まりました。本日の講師は木村君の知人インテリアプランナーの井上直子氏。職業柄海外に買い付けに行く機会の多かった経験から日本では経験できない様々の体験談を聞かせて頂いた。



「当初はアメリカが中心で、自分で車を運転して買い付けをした。日本では古い物は嫌われがちだがあちらでは古い物の方が価値がある。やがてヨーロッパにも行くようになるが、そちらで運転をしていると、国が変わると右側通行や左側通行がコロコロ変わり頭の切り替えが大切であった。また日本人はピラミッドを描く時多くは△を描くが、海外では□や⊠描くことも多い。



日本では温室の様なテラスを作る時、南側に作るが、欧米では北側に作り北側から見る南側の景色を楽しむ。

こうした経験から、物の見方や考え方を少し変えて柔軟にチェンジする大切さを体験的に学んだ。

富士山に登っても山容の美しさはわからないが離れてみてその美しさが解るように海外に出て初めて日本の良さがわかる。

今大切だと思う事は、『頭を柔軟にすること、まず実行してみることに、そしてしっかり勉強すること』だとお話をしめられました。

【参加者】太田、神谷、木村、柴田、鈴木孝、谷口、永瀬、橋爪、松本、八木、山田、山村、山本、鷲尾

10月第2例会報告

1. 中部部会収支報告（浅野会計担当作成資料）
剰余金について、クラブ一般会計から借りていた5万円は一般会計に戻す。残余は中部会計とクラブ特別会計に入れることを承認。
2. 街頭募金報告（橋爪君より）
栄-68,808円、金山-42,545円
3. 第30回チャリティーランについて9月第2例会で決定した以下の2点を再確認した。
①例年通り2チーム分参加費支援（10万円）行う。
②参加者用の水を提供（1万円以内）
ボランティア集合8:15 レース開始10:00
4. 南山バザーの支援について
当日協力してくれる日本語学校の留学生を支援するためのバザー券の購入お願いがあり、その場にいたメンバーから寄せられた寄付金（3,500円）を充当することとした。
ボランティア集合9:00 開場10:00
5. チャリティーゴルフ（11/16）
太田君、山村君参加
6. クリスマスカードコンテスト協賛要請の件
例年通り3万円の支援を承認。
審査会11/19 表彰式12/17

7. クリスマス祝会の件

日時：12月17日 会場：ラ・スースANN
を決定。詳細は担当にて詰めてもらう。

8. 忘年会（第3例会）の件

日時：12月28日（木）夕刻に決定。

会場：検討

【参加者】木村、谷口、中江、橋爪、松本、山田、
山村、鷺尾

どうする名古屋の出版文化

山本 直子

2023年は衝撃的な年となった。昨年12月、SNS上で新瑞橋の七五書店が年明け1月末で閉店することを知った。年が明けてしばらくすると、正文館書店本店（東片端の正文館）から封書が届いた。開いてみると、「6月末で閉店」という文字が目飛び込んできた。

七五書店は、2019年に名古屋市在住の作家、大島真寿美さんが直木賞を受賞したときにも話題になった。店長の熊谷隆章さんは2011年に刊行された大島さんの『ピエタ』を読んで、地元の作家である大島さんを応援したいと思い、大島さんの作品を集めてコーナーをつくっていた。直木賞発表の日には、店内に大島さんを応援する書店員や常連客が集まって、インターネット中継を見守り、発表の瞬間、大歓声があがった。



正文館書店本店は、毎日届く新刊を曜日別に並べていた。棚を曜日ごとに分けて、下から三段が最新刊、その上が先週の新刊、その上が先々週の新刊と、少しずつスペースは小さくなるが、3週間分の新刊を眺めることができる。この棚で、世の中では、今、何がテーマとなっているのかを知ることができた。そして、その棚の端に、「本の束の間」というコーナーがあった。ここには約百冊の本が並べられていて、必ず読みたい本が何冊か見つかる。そこに自社の本が入っていると、ちょっとうれしかった。選書しているのは、会長の谷口正明氏。6月と11月号には「書店員おすすめフェア」も展開してきた。3か月ほど前からスタッフ全員が一人二冊ずつおすすめ本を選んで、コーナーづくりをしていた。

6月はじめ、風媒社の劉編集長から電話があった。

「ちくさ正文館が7月末で閉店するって知ってますか？」



『本の虫 二人抄』

古田一晴 劉永昇 著
ゆいぽおと 刊

知らなかった。驚いた。正文館書店本店が閉店すると知ったとき、ちくさ正文館はまだあるからと自らを慰めていたのに……。学生時代から40年以上もお世話になっていたちくさ正文館は、読む本の幅を大きく広げてくれる書店だった。古田一晴さんという名物店長がいて、その棚づくりには定評があった。古田さんには書店人としての卓越した存在感があって、若いころはとても話しかけられなかった。こわごわ声をかけるようになったのは、自身が出版社を始めてからのこと。すでに18年も経ってはいるが……。

そして、10月上旬には、縁あってその古田さんと風媒社の劉さんとの共著『本の虫 二人抄』を刊行した。朝日新聞名古屋本社版で2014年から続いているリレーエッセイから、古田さんと劉さんの126編を本というかたちにしたのだ。新聞紙上で読むのとは違った面白さを発見して心が躍った。



「山吹 ここの葉のこずえ」
11月27日までのテーマは
「ここから始まるフェア」

10月16日、「正文館未来への種まきプロジェクト」の一環として、正文館書店本社で書籍販売が始まった。平日の午前10時過ぎに私も訪ねてみた。本社機能が移転されたビルの軒下に、「山吹 ここの葉のこずえ」と名づけられた本棚があった。絵本あり、人生の指南書あり、黒柳徹子さんの新刊あり……。通りがかりの人が気になって手を伸ばしたくなるような本ばかり。そして、そのなかに『本の虫 二人抄』を発見！ 読書好きの人の目にとまってくれることを祈った。

道を隔てた山吹谷公園では、近くの保育所の子どもたちのかわいらしい声がしていた。その隣の山吹小学校の下校時には、小学生が「山吹 ここの葉のこずえ」の本を手にとるのだろう。子どもたちが本に出会う瞬間が目に浮かんで胸が熱くなった。

今期の担当者は以下の通りです。皆さん準備を宜しくお願い致します。

【例会担当】

| | |
|-----|---------|
| 12月 | 中江・山田 |
| 1月 | 鷺尾 |
| 2月 | 山村 |
| 3月 | 橋爪 |
| 4月 | 神谷 |
| 5月 | 真鍋 |
| 6月 | 太田 |
| 7月 | 現会長・新会長 |

【ブリテン寄稿担当】

| | |
|------|----|
| 12月号 | 鷺尾 |
| 1月号 | 浅野 |
| 2月号 | 柴田 |
| 3月号 | 太田 |
| 4月号 | 神谷 |
| 5月号 | 柴田 |
| 6月号 | 橋爪 |
| 7月号 | 谷口 |